

平成16年9月中間期 決算説明資料



日本ERI株式会社
証券コード：2419



サマリー

- ◆ 前年同期比増収増益
 - ・・・創業以来の繰越損失解消
- ◆ 16年度通期業績も増収増益の見込
 - ・・・初の配当実施を予定



経営成績

(単位:百万円)

	16/9 中間期	前年度 中間期	増減	対前年 同期比
売上高	2,359	1,590	769	148.3%
営業利益	151	△41	192	—
経常利益	154	△40	194	—
中間純利益	79	△43	122	—
当期未処分利益	21	△367	388	—
1株あたり 中間純利益	7,711.59円	△4,130.04円	11,841.63円	—



業務別売上高

(単位:百万円)

	16/9 中間期	前年度 中間期	前年同 期比(%)	構成比 (%)	構成比 の増減
確認検査	1,526	953	160.1	64.7	+4.8
住宅性能 評価	581	435	133.5	24.6	△2.7
その他	252	203	124.5	10.7	△2.0
合計	2,359	1,591	148.3	100.0	—



主要業務計数

	16/9 中間期	前年度 中間期	増減	対前年 同期比
確認件数	22,510	13,450	9,060	167.4%
完了検査	12,288	6,638	5,650	185.1%
戸建住宅 設計評価	5,254	3,388	1,866	155.1%
共同住宅 設計評価	7,782	6,191	1,591	125.7%



既存店と新設店

(単位:百万円、件)

	既存店(12)			*新設店	
	16年度 中間期	前年同期 比増減率	構成比 %	16年度 中間期	構成比 %
建築確認売上	1,374	+44.8	90.1	151	9.9
確認件数	19,155	+43.1	85.1	3,355	14.9
戸建設計評価	4,787	+41.4	91.1	467	8.9
共同設計評価	7,530	+21.6	96.8	252	3.2

*15/9以降に新設した店舗 6



営業の状況

- ◆ 既存店が大きく躍進（特に確認業務）
 - 特に、首都圏、札幌、名古屋
- ◆ 新設店も過半が黒字化
- ◆ 新規事業分野への進出も順調
 - デュー・デリジェンス 通期で50百万円程度
 - 「すまいと事業」 銀行との提携交渉進展



業務繁忙への対応

- ・・・計画比+20名の新規雇用



下期方針

- ◆ 拠点の拡充
 - 16/10 松山支店新設、熊本支店昇格
 - 17/4 宇都宮、松本への進出準備
- ◆ サービスの多様化、高度化（法定業務）
 - 防災評定申請中、認定機関申請予定
- ◆ 新規事業、ソリューション事業の育成
 - デュー・デリジェンス業務を拡大
- ◆ 人材の確保・育成
 - 確認検査員 17/4に145名体制めざす



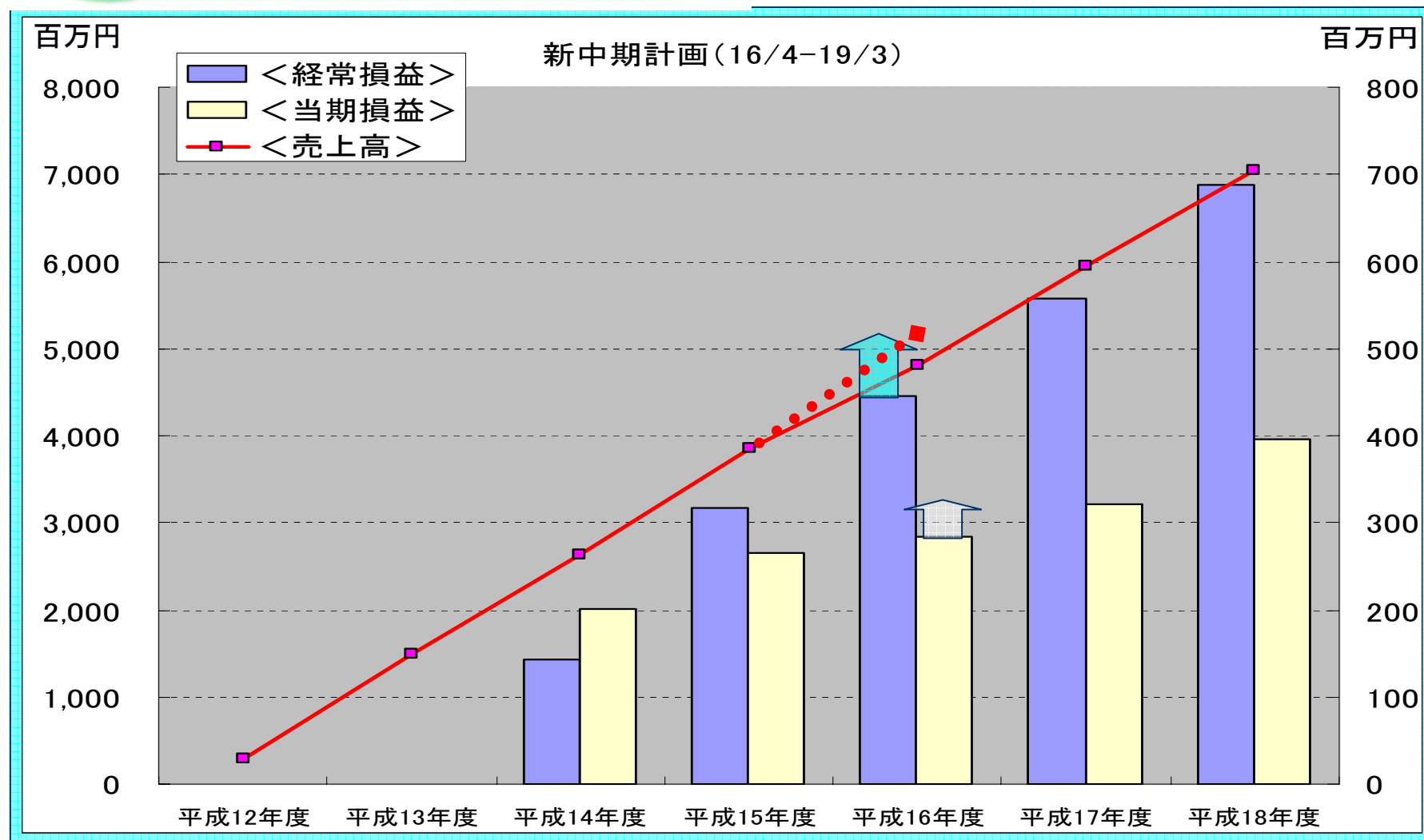
通期業績見込

- ◆ 売上高 52.0億円
- ◆ 経常利益 5.2億円
- ◆ 当期利益 3.2億円

(注) 業績の季節変動について(売上構成比)

	上期	下期
15年度売上実績	41%	59%
16年度売上見込	45%	55%

中期計画との差異

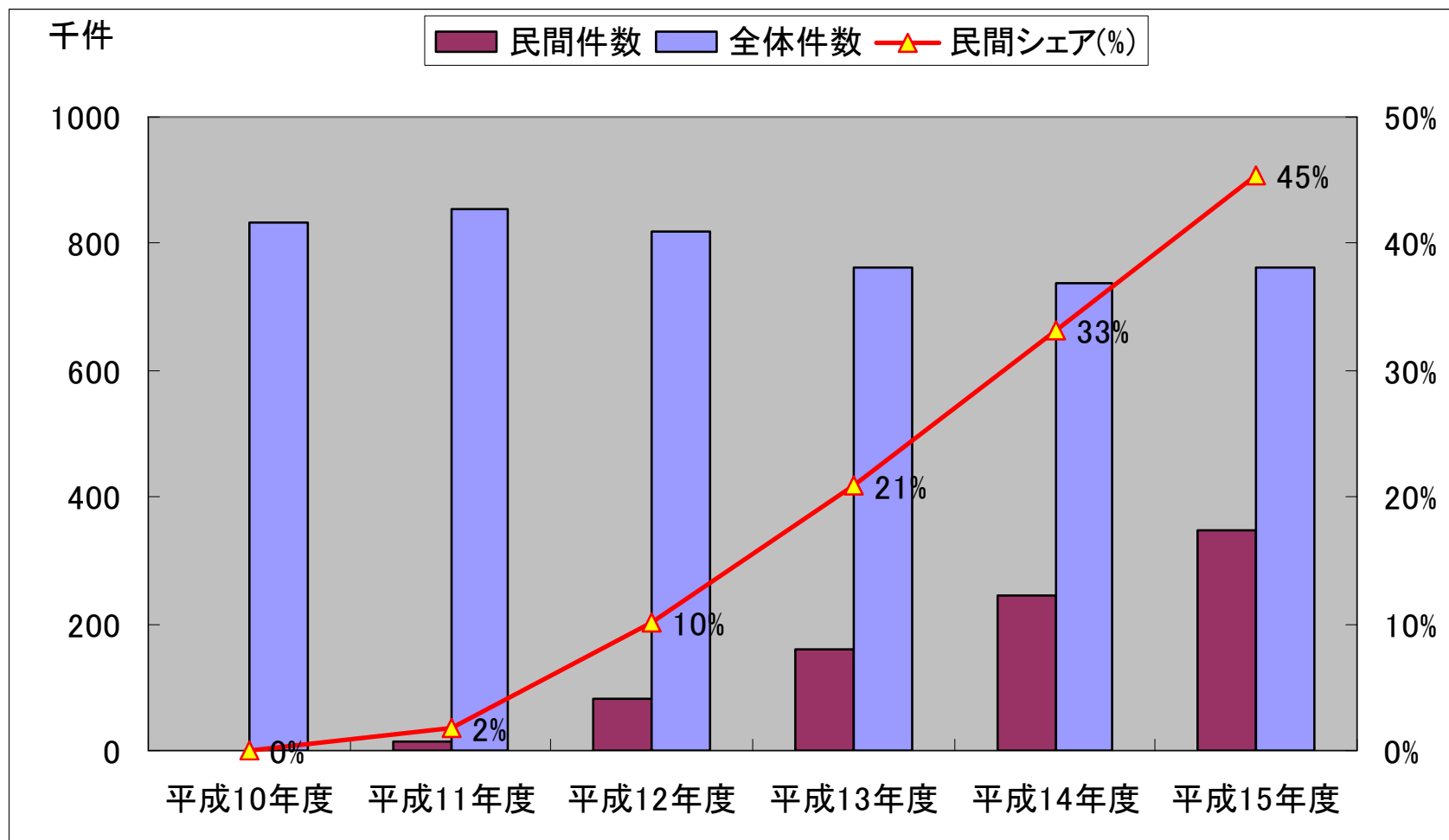


添付資料

平成15年度の確認検査・構造評定実績



確認検査の民間化





シェアの分析

各県での確認 件数(建築物)	(シェア) 5%~	3~ 5%	1~ 3%	~1%	合計
30,000~ (件)	②	②	③	①	8
20,000~30,000	①		1	1	3
10,000~20,000	①		⑤	⑦	13
~10,000	1	3	⑨	10	23
合計	5	5	18	19	47

(注) 数字は都道府県の数、○(白抜き)は支店設置、○は一部の県に設置



構造評定業務

(単位:件)

		平成14年度	平成15年度	増減
超高層評定	全体	128	135	+5%
	当社	28	53	+89%
	シェア	22%	39%	
中高層評定 (免震)	全体	96	70	△23%
	当社	11	24	+118%
	シェア	11%	34%	